

取扱いの趣旨

抜歯対象となった歯に限らず、口腔を一単位としてとらえ、生活習慣、口腔環境の改善を図る継続管理を評価した歯科疾患管理料の主旨から、他の病名がなく永久歯の抜歯手術以外の処置がない場合の歯科疾患管理料の算定は原則として認められる。

支払基金が公表している取扱いの全文

【医学管理等】

《平成24年8月27日》

19 歯科疾患管理料②

○ 取扱い

原則として、他の病名がなく、永久歯の抜歯手術以外の処置がない場合、歯科疾患管理料の算定を認める。

○ 取扱いを定めた理由

口腔を一単位としてとらえ、抜歯対象となった当該歯のみに限らず、生活習慣、口腔環境の改善を図る継続管理を評価した歯科疾患管理料の主旨から当該管理料の算定は認められる。

○ 留意事項

歯科疾患管理料の管理の継続性や必要性に基づき判断することが必要であると思われる。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

歯科疾患管理料を算定しているレセプト1万件当たり、条件（永久歯の抜歯手術の算定があり、抜歯部位以外の歯科疾患がなく歯科疾患管理料を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、歯科疾患管理料が査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

請求どおり	: 取扱いどおり
査定 審査委員	査定 職員契機
返戻	: 検証が必要

審査結果の概要

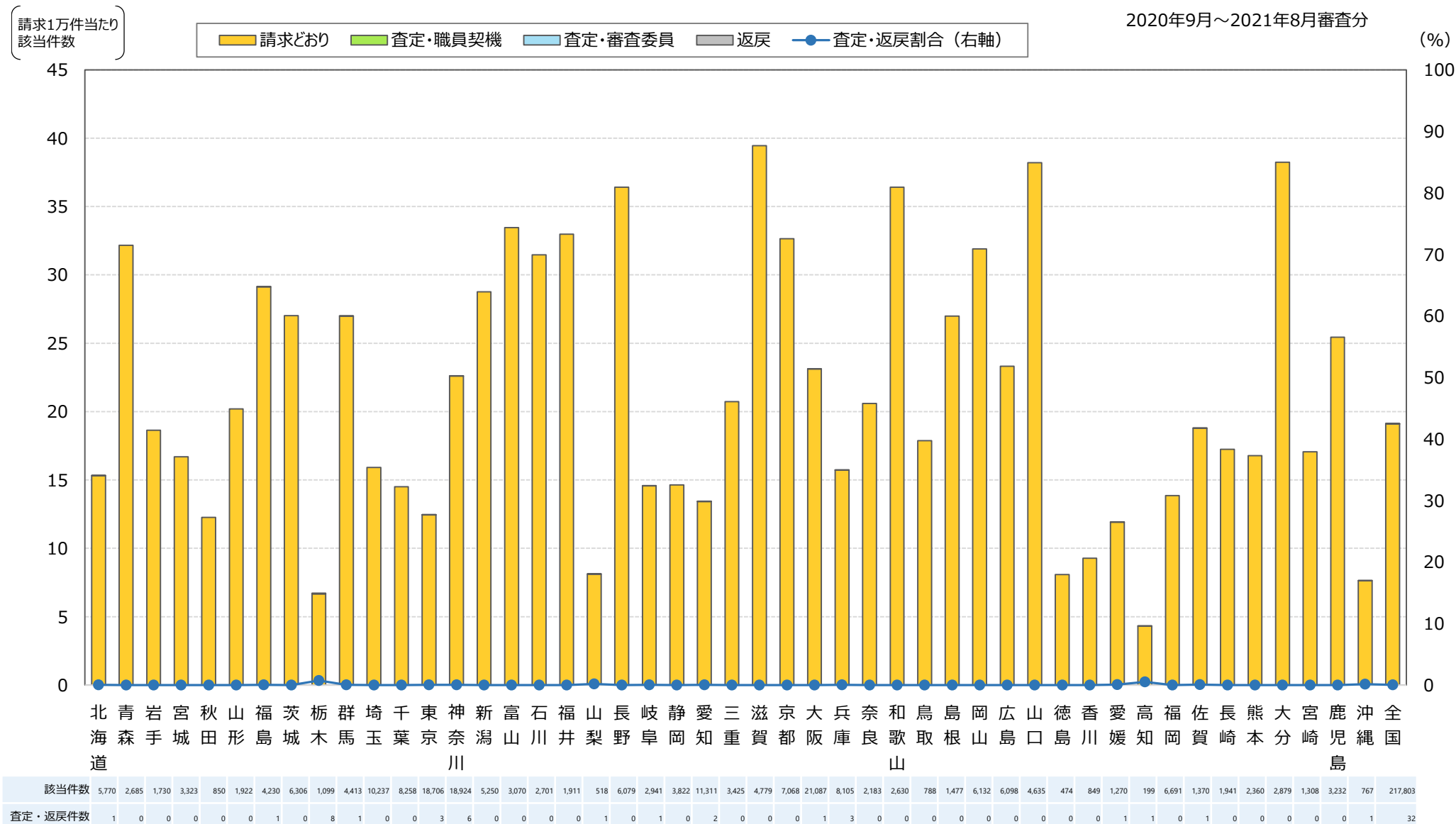
- 全国の査定・返戻割合 0.01%
- 検証を必要とする支部 15支部

検証観点	特に検証を要する支部	備考
査定・返戻割合が高い支部	栃木、高知、山梨、沖縄、愛媛、佐賀、兵庫	査定・返戻割合の高い順
査定・職員契機	兵庫	対象1万件当たり査定件数の多い順
査定・審査委員	佐賀、福島、栃木、愛知、東京	〃
返戻	栃木、高知、山梨、沖縄、愛媛、神奈川、群馬	対象1万件当たり返戻件数の多い順
該当件数（全国）	永久歯の抜歯手術の算定があり、抜歯部位以外の歯科疾患がなく歯科疾患管理料を算定	217,803件
取扱いに基づく審査	請求どおり	217,771件
検証を必要とする審査	査定・返戻の計	32件

事例19 他の病名と永久歯の抜歯手術以外の処置のない歯科疾患管理料の取扱い

【認める事例】

2020年9月～2021年8月審査分



【該当件数】 永久歯の抜歯手術の算定があり、抜歯部位以外の歯科疾患がなく歯科疾患管理料を算定しているレセプト件数